

1977 くすのき

VOL.8

創立80周年記念号

樟樹会

樟樹会

新居浜西高等学校同窓会

学校所蔵 美術品紹介



大玄一光大和尚

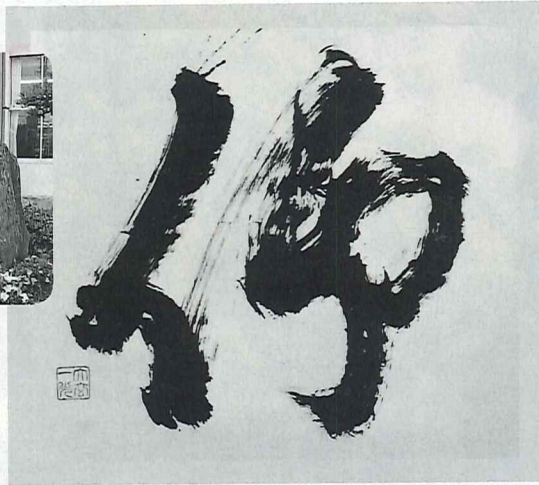
〔御経歴〕

大正7年6月3日広島県向島町生、昭和16年12月駒込大学仏教学科卒業そして兵役、昭和21年1月瑞応寺住職任命、昭和52年11月大本山永平寺後堂就任、平成5年11月曹洞宗大本山永平寺副貫首就任、平成8年7月20日遷化(79歳)、9月6日佛国山瑞応寺において本山葬が執り行なわれた。一光大和尚は修行道場の日々を生活基盤として取り込んだ曹洞宗一宗のみならず現代日本を代表する宗師家でありました。

〔著書〕

禅語入門(カッパ・ビジネス95年)
はしふるつゆ「道元禅師のお歌」(自彌舎記念会昭和61年)
二見に涉らず「禅の真髓」(自彌舎記念会昭和59年)

その他多数

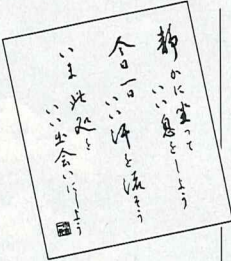


檀崎一光老師書 (90cm×98cm)

昭和60年卒業記念石碑



母校玄関前の石碑「仰」は原石に直接揮毫されたもので、また校長室には後日お願いしこのように素晴らしい同字体の大額が飾られています。



正身端坐(きつちと坐禅の作法にのっとって坐る)して命かけてやるのがよろしいでしょう。その結果は本物になるだけだ。それはなにか(仏になる、悟りとか、利益のようなもの)になるのか、いや何にもならん。

無所求、無所得の祇管打座(しかんたざ)は仏(真実)の姿である。お粗末でも模象(もぞう)をならうのである。それはいわば影竜(かげりゅう)ともいえる。真竜にはほど遠いと思う、しかし竜には違いない。習熟すれば、必ず真竜になるのである。習い習いしていたら本物になる。と坐禅の本質はどんな人にも身近に取り入れられることを解かれていた。

(禅語入門より)

つになつて相手がないから比べようがない。比べないから善いとも悪いとも、綺麗とも汚いとも、損をした得をしたとも、そういう対立がない。不平不満の愚痴をこぼさなくなる。そういう絶対の姿勢が坐禅の姿勢なのです。坐禅をよくなさる哲学者の西田幾多郎はこう言っています。

《我が心深き底あり 喜びも憂いも何も届かじと思ふ》

西田さんは己れの心の深い深い底を見届けたと言っています。そこからふつと生きる喜びや生きる力が沸きあがってきたのでしょう。そういう心になれますと、事に対して右に行つたら得をしようと、左に進んだほうがいいかもしれない、などという迷いはさーつと消えて無くなります。霧が自然と消えて心が晴れてくるのです。人間の分別とかでない世界が開かれるのです。坐禅にもし力があるとするばこうしたことでしょうか。

(この項プレゼント93・6より)

市民参加の坐禅を提唱された一光老師

現代生活と宗門との関わりを常に坐禅をもつて説かれ坐禅をもつて実践され一生を貫かれました。地域住民との触れ合いを願って、昭和27年ひかり幼稚園を開設、この時「日曜坐禅会」を創設し坐禅堂を開放されました。

その方法は坐禅30分、正法眼藏坐禅儀を唱和15分、経行(立禅)15分の庶民むけでして、毎日曜日8時から、また第1日曜日には坐禅の後講話が一光老師自らなされ、今も継承されております。

明治30年に僧堂(修行道場)として認可を受け、昭和26年専門僧

堂と改称されており、現在では全国はもとより世界から入門者にとまがない処です。

市制50周年の時に「新居浜市を坐禅の都市にしよう」と、そこで「市民参加の坐禅を提唱」瑞応寺の坐禅堂や本堂まで市民に開放され、少しでも本物に近い坐禅を体験して頂こうとされたのです。皆さんの主義主張にかわり無く参加出来る配慮をされました。

一光老師の坐禅について

坐禅の姿は「不二の法」で、相手と一つになることです。どんな相手でも自分の中に受け入れる、すると天地一杯自分だけです。一

友情は人生のワイン



樟樹会会長

世良 誠朗

本年、創立80周年を迎えるに当たり平成7年5月から検討を重ね、昨年8月30日に実行委員会を発足させ、その準備を進めてまいりました。

在校生の皆さんは「樟樹80年―大地に根付きそして未来へ―」の創立80周年テーマのもと、次なる世紀の未来像に確たる手応えも感じ取って、更によき校風と伝統をつくるために、文武両道に力の限り励んでおります。この間、皆様の御理解と物心両面にわたる絶大なる御支援を賜わりたく、ここに謹んでお願い申し上げます。

さて「友情は人生のワイン」といったのはイギリスの詩人エドワード・ヤングですが、ワインの醸されるほど味わい深くなる。ヌーボー（ワインの新酒）にも新鮮な喜びがあり、古いものにも新しいものにも、それぞれ素晴らしさがある。

友を持たない人生はワインのない料理に等しい、というわけである。

この夏から秋にかけ、どれだけの友と語り合いを深め、新たな友を見つめられるか思い出多い刻としていただきたい。

今や同窓生は2万7000人の陣容となり、よき友は最高の宝であるとの思いで機関紙「樟樹」を発刊し、今回で8号を迎えることができました。皆様のご配慮とご理解を賜りましたこと、ここに厚くお礼を申し上げます。

創立80周年、さらなる飛躍を！

本年4月の人事異動で、三崎高校より転任して参りました。県下有数の伝統に輝く名門校に赴任し、光栄に思うと同時に、その責任の重大さを痛感しております。

同窓会の皆様方のお力添えを得て、教職員とともに、この伝統ある西高発展のため、微力ながら一生懸命頑張りたいと思っております。御協力御支援をよろしくお願いいたします。

新学期が始まり生徒たちは、毎日、勉強に部活動に闘志を燃やし、文武両道を目指して励んでおります。

今年は、本校にとりましては、めでたい節目の年に当たり、創立80周年を迎えることとなります。10月には、「樟樹80年―大地に根付きそして未来へ―」のテーマの下、記念行事が挙行されることになっております。

80周年を契機として、本校の校訓であります「自律生活・自主学习・自己鍛練」の実践を通して、生徒・教職員が一体となつて西高のさらなる飛躍を目指す所存であります。

周年行事を行うに際しましては、同窓会の皆様方のあたたかい御協力御支援をよろしくお願いいたします。

終わりになりましたが、皆様方の今後ますますの御活躍と御健勝を心から祈念して、御挨拶いたします。



校長

久保田 清志

70会から80会へ



前同窓会会長 70会 会長

下村 隆勇

70会（ナナマルカイ）が産声をあげたのは、昭和63年2月13日でした。70周年の記念式典の日を記念して、毎年会合して来ましたが、70周年記念行事で募金活動に御協力下さった方々の交流の場とし、80周年記念行事への躍進の踏台にしたいという願いがありました。その間鬼籍に入られた方もおいでです。御冥福をお祈り致します。

80周年記念行事が3月末県教育委員会より承認されてまいりました。又記念行事は平成9年10月4日に決定しています。今後具体的な計画が出来上り、会員諸氏に御案内がまいると思っています。

この同窓会機関紙の発行を提唱した私として、この樟樹を通じ全国3万人に迫る同窓生各位の御賛同を御願ひし御協力を賜りたいと思ひます。

最後に同窓生の全国各地、各界での御活躍を祈念致します。

同窓生

文化面、産業界など各界にわたり活躍されている

同窓生をご紹介しますコーナーです

紹介



青野 平

【略歴】

昭和30年3月新居浜西高校を卒業。
 同年4月東京大学入学。
 昭和33年10月司法試験合格。
 昭和34年3月東京大学法学部卒業。
 同年4月司法修習生に任命される。
 昭和36年4月裁判官となる。
 以後、京都、西条、東京、徳島、大阪、福島、
 大阪、京都と転勤。
 平成3年7月札幌家裁所長。
 平成6年4月大阪高裁判事(部総括)。
 平成8年7月依頼退官。
 同年9月公証人に任命される。
 京都公証人合同役場で執務。

裁判官からパステル画家に

今年の5月6日より11日の間、ギ

ャラリー吉象堂(京都市中京区)にお
 きまして、私のパステル画第2回京
 都個展を開かせていただきました。
 前回以上に盛況で終始し、種々ご支
 援いただきました皆様に感謝してお
 ります。

昨年満60歳を期に、裁判官をやめ
 て、公証人になったのは、責任の軽
 い仕事に転じて、画作に力を入れた
 いという意図に出たものでありまし
 て、そのため、退官後公証人になる
 までに3カ月の余暇を作り、北欧や
 パリに旅行して、画作のための取材
 もいたしました。

今回の個展は、主としてその北欧
 旅行の成果を発表するものでした
 が、そのほか舞妓や仏像の絵とも取
 り組み、パステルという画材の持つ
 表現力の豊かさを観ていただこうと

試みた次第です。

有難いことに知り合いの方々のほ
 かに、見知らぬ多くの方々にも観に
 きていただけたのですが、何より嬉し
 かったのは、札幌から内藤昶彦氏が
 わざわざ観に来てくれたことでした。
 内藤氏は72歳のアマチュア画家

ですが、私が札幌在勤中(平成3年
 11月同6年)に同地で開いた2回のパ
 ステル画個展に触発されて、油絵・
 水彩画からパステル画に移り、その
 1年余り後の平成7年4月には、早
 くもパステル画で初個展を催し、こ
 れにより「パステルによる風景画で
 は道内に並ぶ者なし」と評された人
 です。素敵な夫人を同伴して来てく
 れた個展会場で展示作品の一つ一つ
 について話し合い、また、内藤氏が
 わざわざ持ってきた同氏の作品を見
 ながら話し合った一刻は、まさに画



パステル
フィンランド風景 F10

作冥利に尽きるものでした。
 昨年12月、手狭だった伏見のマン
 ションから現在のマンションに居を
 移し、いさか贅沢なアトリエを持
 つことができて、画作のための環境
 は整いました。京都、奈良、滋賀、
 信州、パリ、ヴェニス、ロマンチッ
 ク街道、東欧、スペインなどなど、
 描きたいところも沢山あり、頭の中
 はこれから描くべき絵の構想でいっ
 ぱいです。1年後になるか2年後に
 なるかは分かりませんが、いずれま
 た機会をつくって皆さんに観ていた
 だこうと思っております。

建材でサポートする



田坂若水



真鍋 博

【略歴】

昭和7年愛媛県生まれ。現多摩美術大学卒。第1回 講談社さしえ賞受賞、教員、作家活動を経て、多摩美術大学大学院修士課程修了。日本万国博、沖縄国際海洋博、科学万博などに参画した。現在、手づくり郷土賞選定委員、国民文化祭実行委員会委員。未来の発想のイラストのほか、星新一のショート・ショート of the 装幀、アガサ・クリスティの文庫本のカバーを数多く描いた。著書に「発想交差点」「異文化圏遊泳」など。作品集に「真鍋博オリジナル'85」。昨年6月1日～8月31日まで伊豆高原の池田20世紀美術館で「真鍋博の世界」展を開催した。

西高、80周年に思う(一)

この欄の原稿依頼状を受取ったのは、6月4日である。内容は「在学中の思い出」「現在のお仕事・生活・感じる事」等、何でも結構です、とある。どうやら自由に書いてよいらしいが、8号ともなると、すでに14人の人が書いておられて、同じことを書いても仕方ないし、写真はともかく略歴を添えて、とあり、それを何字くらいで書くのか明記してないので、編集担当の方に電話してみようと思っていたら、その翌日、新居浜西高の同窓の者という人が「一度、ご挨拶に」と電話をかけてきた。あいにく私は留守だったが、帰宅してその電話のことをきいて、同窓会報の担当の人は丁寧だなと感心した。「また、お電話しますから」ということだったので、略歴の字数のことだけは聞きたいと思っていたら、3、

4日後電話があり、またまた私が不在で、家内が「同窓会報のことなら、ぜひお聞きしたいことがある」と言っており、「お聞きしたい」といって、挨拶だけでもいいから、またかかって電話を切ったという。またかかってくるならと待っていたのに、この一週間、その電話はなく、とうとう締切の6月20日を過ぎたところへ、同窓会事務局から電話があり、「お聞きしたいことありまして……」と云々と、「編集担当ではないので」とおっしゃるので、在学中のこと、現在の仕事、感じることを全部をまとめて書くことにした。

私が西高に入学したのは、昭和24年のいわゆる学制改革による学区制で、急に明日から西高に行くことになったのである。それまでは女学校だったので、登校当日「男子用トイレはあるのか？」と話しながら校門をくぐったのを憶えている。はじめの男女共学、戦後民主主義の自由な気風のなかで、美術部がつくられ、かつ、部員の半数は女子で、それまで男子校だっただけに、女生徒を描くことなどできず、こうして堂々と絵を描けることで、戦後を改めて感じとったのだ。

3年生になった昭和25年、3人もが美術大学を志すことになった。が、担任の先生は「いままで美大へ進学したものは一人もない」と、頭をかかえておられた。3人のうち、1人は京都へ、1人は金沢へ、そして私は東京へ進学したが、その頃の西高は、名門でもなければ、受験校でもなかった。あれからもう47年もたち美大へ進学した3人のうち、1人は数年前に亡くなってしまった。同級生は定年を過ぎ、時間の速さは、怖しいほどである。そして、西高は、愛媛県下有数の進学校になり、いまや美術大学へ進む生徒などいないのではなからうか。東京にいる西高出身者も多くなり、四、五年前、四、五十代の後輩から電話があり、「西高出身者で、各中央省庁にいるキャリア組や、民間企業の部長の集りがあるので、真鍋さん一度出席しませんか、大蔵省だろうと、通産省だろうと、朝日新聞社だろうと、銀行だろうと、どこへ行っても同窓がいるのは心強いものですし、顔を合わせておけば、あなたのためにいなる」といつてくれた。

2年前にはその名簿が送られてきて、会合の案内もつけた。私は、その名簿を見つつ、国家公務員は、国のために働いているのであって、出身地の一県や一市のために仕事をしているのではないので、個人的付き合いは、むしろひかえるべきと思って、何回もおさそいを受けたが、とうとう出席はしなかった。それにひきかえ、松山に行き、県庁の方にお目にかかる、新居浜出身の職員は極端に少ない。平成2年の国民文化祭の前は、基本構想委員をやっていたので、10回も松山へ行き、県庁の人が「やっと西高出身の職員を見つけたので、空港で一緒にお迎えします」といつてくれた時は、その心配りに感謝しつつ、考えこんだ。今年も西条地方局の新庁舎のロビーに陶板を付けるので、松山へも行つたし、県庁と毎日のように電話で話した。

西高出身者は、大都市の大学へ進学するが、卒業後は、県庁へ就職したりせず、中央官庁や在京の超有名企業へ就職する――これは、人材を提供しているが、郷里には就職を望まぬ、いわば後進国型の発想ではないかと。

いま、中央官庁も、大企業も、大銀行も、当てにはならぬし、犯罪さえしでかす。そろそろ寄らば大樹の発想をかえる時だ。同窓愛が強いのなら、郷里のためにつくすべきだ。西高80周年の節目の年だけに、それを痛感している。(イラストレーター)

DeDeDeO

電器のスーパーストア
DeDeDeO
新居浜店
愛媛県新居浜市豊光地町1-10-5
TEL(0897)40-6811(代)

お客様専用駐車場完備
(129台収容)

DeDeDeO 新居浜店

インターハイめざして [陸上競技部]

陸上部は顧問の加藤正義先生、今村紀子先生の指導のもと現在男子6名、女子6名で活動しています。少人数であり目立つ部ではありませんが、第2グラウンドで日々練習に励んでいます。部員の大半は1年生ですが、加藤先生の指導のもと、基本的な練習に取り組み、早くも新人戦に向けての第一歩を踏み出しました。

陸上とは記録に自らが挑むスポーツです。自分に勝つことを目標としていくのです。ただひたすら自分の目標だけに向かって、走り、投げ、飛ぶのです。自分に勝ったときの喜びが陸上競技の魅力なのです。個人競技なので、強くなるには自分の努力が必要です。走ることが練習の中心となるので、苦しいことの方がはるかに多いのです。しかし、その苦しい練習が終わった後のやり終えた充実感と気持ちのよさは、他のスポーツにはない快感です。

陸上部はここ数年においては、県総体や県新人戦には出場しています。平成5年には男子800メートルで、

昨年は女子やり投げでインターハイに出場しました。昨年のインターハイでは経験不足や精神的な弱さが出てしまい結果が出せませんでした。

全国の強豪相手に自分の実力を知らされた大会となりました。しかし、こういう経験をしたからこそ、また練習に打ち込むことができました。

今年もインターハイへの第一歩を踏み出しました。今までの練習の成果を十分に発揮できるように、今度の県総体、四国総体においても頑張りたい



と思います。

今後の課題は、短時間に集中した練習を行うことです。進学校といわれる新居浜西高校において文武両道は最大の課題です。先輩たちが成し遂げてきたことなので伝統として受けついでいかなければならないと思っています。

これからは1年生が中心となり活動をしていくこととなりますが、先輩たちの伝統を受けついで、ますます発展するでしょう。今後の陸上部の活躍を期待して下さい。

の歩み

陸上競技部

設計・製造・管理まで、トータルシステムを実現する。

汎用CAD/CAM **実寸法師** for Windows 95

開発元

株式会社タイウ

愛媛県新居浜市八雲町4-7

TEL: 0897-32-9200

URL: <http://www.taiwa.co.jp>

常務取締役 **武田信之** (昭和28年)

取締役開発本部長 **近藤健司** (昭和59年)

大好評発売中

平成9年度書道部は1年生6名、2年生5名、3年生1名の計12名で活動を開始しました。しかし、専属部員は2名です。ほとんどの部員が忙しい時間を有効に使い、作品制作に励んでいます。

書道は、実に奥が深いものです。私自身、高校入学後初めて、「お習字」ならぬ「書」を知り、のめり込んでいった一人であります。中学校までは「お習字」の上手な人は沢山います。しかし、この人たちのほとんどが高校で筆を握らない現状を大変残念に思います。今まで培ってきた書写力を生かし、自己の思いやメッセージを形あるものにし、ある瞬間の自分(感情)を一枚の紙に託すことのできる素晴らしさを一人でも多くの人に味わってもらいたいと日頃より願っております。

書道部 部活動

作品発表の機会は、西高祭・県高文祭・東予地区展の年3回です。4月から西高祭に向けてどのような作品にしようかと思いを馳せ、半紙練習でねらいを固め、6月頃からいよいよ制作に入ります。1年生の中には、予想以上の大きさの筆や紙に戸惑いながら一枚また一枚とチャレンジするうちに、いつの間にか快感へと気持ちに変化している自分に気がつき、とりつかれたように筆を運んでくる者もいます。納得のいく作品が出来てホッとしているのも束の間。落款印を押し、裏打ち↓表装・額装という作業があります。これを経験することで初めて自己作品への愛着が湧いてくるのです。結構、おもしろいものです。展示後、冷静な目で自己作品を見つめ、次作への課題を見つけ意欲を高めている姿を頼もしく思います。そして、県高文祭には、この中から数点のみ出品しています。11月頃からは、2月の東予地区展に向けて新たな作品制作に励みます。1年間の締めくくりということ、

一番充実した作品が出来るのもこの機会です。是非ご覧になって下さい。特に昨年度は、全国高等学校総合文化祭(北海道で開催)に出品参加しました。これは(右下写真)前年度の県高文祭で優秀賞をいただき、得たものです。同年代の書を志す者が大きな会場で共に筆を執り、会話を跳ませ交流を深めることが出来、新鮮かつ刺激的で、貴重な経験であったようです。この作品は、全体の講評でも取り上げられ注目、好評をあげました。また、東予地区展で新居浜市立郷土美術館に展示した折には、ある方の心を捕え、メッセージを送ることが出来たことは、作者にとって感激の極みであり、大きな励みとなっております。

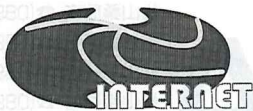
このように、実質1人年間2・3点の制作ではありますが、「書は心画なり」といわれますように、その一点一点が自己開花・表現につながることを願って、地味な部ではありますが、活動してゆきたいと思えます。

(顧問 今井 浩子)



書は心画なり
[書道部]

Personality & Global Village



info@shikoku.or.jp(お問い合わせ)

Shikoku Internet

株式会社 四国インターネット

本社 〒792 愛媛県新居浜市坂井町2-3-17

新居浜テレコムプラザ2F

TEL 0897-35-3600 FAX 0897-35-3601

営業時間 月~金 9:00~18:00

母校の概況

Niihama-Nishi High School

教職員の異動

平成9年度の教職員異動は次のとおりです。

職名	転出校	転入者	前任校
教頭	尾野和夫	松本恒夫	川江
校長	林加賀雄	久保田清志	三崎
教員	林加賀雄	久保田清志	三崎
教員	尾野和夫	松本恒夫	川江
(大島高校長へ)			
国語	濱本ひかる	松北	井上邦智
地歴	安宅 理	松南	土居
数学	北須賀逸雄	県教委	國田誠司(新採)
理科	藤田脩一	退職	宮崎 健
英語	河野克伸	西条	松本温子
英語	和田美保	八浜	今村紀子
体育	進藤陽一	今養	藤原勝彦
家庭	森田桂子	小松	近藤美江
事務	田鍋美津子	大洲	小松
事務	近藤千晴	西条	高木ひとみ
事務	近藤千晴	西条	高木ひとみ

16名の同窓生が 母校の教壇に立つ

(氏名)	(卒業年)	(教科)
加藤 正義	S 35	保健
斎藤 美智子	S 39	実習助手
浦川 朱美	S 42	家庭
津村 和芳	S 46	国語

厳しい入試状況の中、 輝かしい実績

97年度入試は前年度に引き続いてセンター試験の出願者は過去最高を更新した。その背景として、就業に対する安定性や、女子受験生の増加、地元志向などが、国立大学の人気を呼び戻していることや、センター試験利用の私立大学の増加、センター試験科目の軽減などの入試の多様化があげられる。一方、志願者が激減した私立大学も目立った。このように難易度の変動や、多様化された入試形態など、厳しい入試状況が生まれている。

こうした中で、生徒数の減少にもかかわらず、生徒たちは西高の伝統

石田 伸一	S 46	地歴公民
松本 温子	S 46	英語
品川 雅司	S 48	理科
松木 一明	S 48	英語
河上 由紀代	S 49	実習助手
坂上 仁	S 50	保健
中川 文生	S 51	数学
村尾 淳	S 52	地歴公民
岡田 緑	S 52	養護
井上 邦智	S 55	国語
永易 孝規	S 60	地歴公民
五味 稔	S 61	数学

を受け継ぎ、さらに飛躍させるべく努力し、輝かしい成績を収めている。

最近3か年の総合合格者数と、大学別合格者数の一部をここに紹介する。

	7年度	8年度	9年度
国公立計	287	226	233
私立計	498	498	573
北海道大	2	4	2
東京大	4	2	2
京都大	1	1	2
大阪大	12	6	9

	7年度	8年度	9年度
岡山大	25	15	27
広島大	15	7	17
香川大	10	14	19
愛媛大	53	46	40
九州大	8	9	2

(数字は過年度卒も含む延べ人数)

年間行事計画

月	4	5	6	7	9	10	12	1	3
日	23	30	24	1	10	4	20	29	19
行事	入学式、始業式 1年生集団宿泊研修 (25日 大洲青年の家)	P.T.A総会 県総合体育大会 (6月1日 松山市)	2年生期末考査(30日)	1、3年生期末考査 (5日)	2学期始業式 運動会	創立80周年記念行事・西高祭 (5日)	2学期考査 3学期始業式 3年生学年末考査 (31日)	3学期考査 卒業式 3学期終業式 (7日)	3学期終業式

角野縫製 ☎(0897)43-1344
新居浜店 ☎(0897)37-0577
伊予三島店 ☎(0896)23-0850
川之江店 ☎(0896)58-4055
西条店 ☎(0897)56-5905
東予店 ☎(0898)64-6575
今治喜田村店 ☎(0898)47-4683

レディース ファッション (全店年中無休) 10AM▶7PM

ブティック
Em. I M I M

今治片山店 ☎(0898)25-8139
松山衣山店 ☎(089)926-0552
松山桑原店 ☎(089)946-3385
松山朝生田店 ☎(089)945-3052
松山平井店 ☎(089)970-5868
松山姫原店 ☎(089)926-3526
松山椿店 ☎(089)958-0309

バドミントン

女子団体三年連続優勝

5月30日から6月2日にかけて、県高等学校総合体育大会が松山市を中心に開催され、本校からも191名の生徒が参加し、各競技で活躍した。主な結果は以下の通り。

陸上競技

・近藤優子 やり投げ3位
砲丸投げ4位
(四国大会出場)

バスケットボール

・男子一回戦 新西 61-37 宇水
二回戦 新西 61-105 今工
・女子一回戦 新西 41-48 松南

バレーボール

・男子一回戦 新西 2-1 西条
二回戦 新西 0-2 松東
・女子一回戦 新西 2-0 北条
二回戦 新西 0-2 済美

バドミントン

・男子団体
一回戦 新西 3-0 聖陵
二回戦 新西 0-3 新田
・女子団体
二回戦 新西 3-0 北条
準々決勝 新西 3-0 東温
準決勝 新西 3-1 新田
決勝 新西 3-1 松東

(3年連続5度目の優勝)

四国・全国大会出場

・女子個人ダブルス

近藤・横井 1位
加藤・山内 2位

(四国・全国大会出場)

・女子個人シングルス

近藤 1位

(四国・全国大会出場)

横井 2位

(四国・全国大会出場)

加藤 3位

(四国大会出場)

卓球

・男子団体

二回戦 新西 0-3 新田

・男子個人シングルス

谷口 ベスト8

(四国大会出場)

ソフトテニス

・男子団体

一回戦 新西 2-1 弓削商船

・女子団体

二回戦 新西 0-2 北宇和
一回戦 新西 1-2 宇東

ハンドボール

一回戦 新西 13-22 新田

サッカー

一回戦 新西 2-1 宇東

二回戦 新西 1-3 新工

柔道

・男子団体

一回戦 新西 2-3 松中

・女子団体

一回戦 新西 3-0 伊予
二回戦 新西 0-3 宇東

剣道

・男子団体

一回戦 新西 2-3 松工

・女子団体

一回戦 新西 0-4 南宇和

弓道

・男子団体

予選11位

・女子団体

予選10位

登山

・男子3位

・女子2位

(四国大会出場)

ダンス

題「束縛」4位

水泳

・木場教之

100m平泳ぎ2位
200m平泳ぎ6位

(両種目四国大会出場)

ご存知ですか?
「買物じょーず」の必需品。
大丸のDカード即時発行!



新居浜大丸Dカード (会員募集中!)
お申し込み、お問い合わせは4階Dカード受付まで。



DAIMARU
大丸・新居浜
電話 (0897)33-4567 水曜定休
西条出張所 (0897)25-0123
三島出張所 (0896)23-6747 東予出張所 (0896)64-3274

創立80周年について

教頭 白石啓三

本校が教学の町おこしに向けて大正6年5月3日、旧新居浜町西町の地に新居浜町立新居浜実科女学校として創立以来、80年の校暦を重ねてまいりました。この慶事に当たり同窓会の方々を中心に平成7年5月から検討を重ね、翌年の8月31日に創立80周年記念事業実行委員会が発足し、現在、同窓会・PTA・学校が一体となって準備を進めております。

ル新居浜の予定
 ◇その他の記念行事等
 (一)記念運動会 9月10日(休)
 (二)記念西高祭 10月4・5日(土・日)
 (三)西高新聞記念特集号発刊
 (四)PTA通信記念特集号発刊
 (五)生徒会誌「樟樹」記念特集号発刊
 (六)新西図書館報記念特集号発刊

そして、本年5月に開催された同窓会常任理事会並びに理事会において、次の記念事業を完遂し記念行事の成功に向けて、全力を挙げて取り組むことが決定されたところであります。

以上の記念事業を完遂し、記念行事を挙げるために3千万円の資金が必要であります。このため、創立70周年同様、同窓会会員の皆様一人一人のお力添えによりまして、3千万円の募金目標を達成していただきますようお願いする次第であります。

去る3月に卒業しました平成8年度の生徒たちは、創立80周年に向けて文武両面にわたり大きな成果を上げました。進学面においては、国立大171、公立大14、私立大111、短大26、準大学等3の計325名が進学しました。延合格者数で見ますと、国立大200、公立大17、私立大461、短大51、準大学等4の計733名にも達した次第です。そして、部活動の体育部では、県高校総体でバドミントン部女子が団体・個人とも2年連続完全優勝するにとともに、弓道部女子が31年振りに団体優勝を成し遂げ、サッカー部が準優勝

するなど大いに西高の名を高めた次第です。また、文化部においても化学部が2年連続日本学生科学賞に輝くとともに、物理部がFDコンテストで四国大会1位、全国大会2位に入賞したのをはじめ吹奏楽部、美術部、書道部、インターアクト部等が県入賞を果たすなど素晴らしい活躍をしました。

そして、創立80周年を迎えた本年、県高校総体に男女共各11種目191名の選手が出場し、バドミントン部女子が3年連続優勝の校史に残る偉業を成し遂げるとともに、登山部女子が準優勝に輝きました。

5月8日(休)には、生徒総会が開催され、その席上、生徒会長の3年9組伊藤直樹君から本年は西高創立80周年の節目の年であるので、色々な面ががんばって行こうとのあいさつがありました。更に5月23日(休)の前期生徒会長選挙において、2年2組石川龍君が選ばれ、記念運動会をはじめ記念西高祭に向けての体制が整いました。

- ◇記念事業
 - (一)校訓碑建立
 - (二)体育館緞帳新調
 - (三)記念会館空調設備整備
- (四)創立80周年記念誌刊行
- ◇記念行事
 - (一)記念式典 平成9年10月4日(土) 10時～11時40分 於西高体育館
 - (二)記念講演 13時～14時 於西高体育館

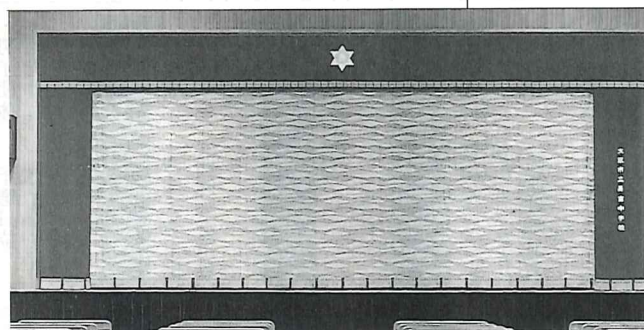
講師 京都大学工学部教授 土岐憲三先生
 昭和13年3月西高卒業
 17時30分～20時
 於リーガロイヤルホテル

私たちは、この佳き年に当たり、「樟樹80年―大地に根付きそして未来へ―」の記念テーマの下に、星霜80年の輝かしい伝統を継承しつつ本校の更なる発展を願い生徒と教職員が一丸となって、文武両面の活力あ

る学校づくりに励んでいるところであります。

生徒たちは、県内はもとより全国の各地各界でめざましい活躍をされている先輩を誇りに思い、校歌に詠まれておりますように、一宮神社の樟の葉薫る学園で、高き理想を抱き、不撓の力を鍛え未来へ羽搏くため、自律生活、自主学習、自己鍛錬を旨として、勉学に、部活動に、奉仕活動に、明るくさわやかに、かつ力強く励んでおります。

どうか、良き資質をもったこの素晴らしい後輩と栄ある我が母校のために、創立80周年事業が無事完遂し、記念行事を成功裡に終えることができますよう同窓会皆様の絶大なる御支援をお願い申し上げます。



体育館緞帳完成写真(他校のものですが、完成するとこのようになります)

中華料理 中料

雅叙苑 がじょうえん

年中無休 (正月1日のみ 臨時休業)

営業時間/AM9:00~PM10:00

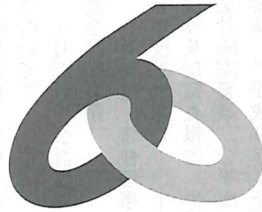
でんわ [0897]

37-3600

新居浜市高木町4-7



キャラクター



市制施行60周年

シンボルマーク

新居浜の動き



広瀬歴史記念館

市政施行60周年記念事業

新居浜市が誕生したのは、昭和12年11月3日であり、今年が市制施行60周年という節目の年を迎えています。

新居浜市においては、「いはいま」ともに学んで「輝く人とまち」をスローガンとし、シンボルマークやキャラクターを公募しました。なお、11月3日の記念式典において、生涯学習都市宣言を行い、まちづくり運動などを含めた市民ぐるみの生涯学習推進体制の確立が進められています。

記念事業として、第15回全国シニアソフトボール大会が5月に、第27回全国中学校バドミントン大会、NHKのど自慢公開録画が8月に開催されるなど、様々な分野での事業が行われます。

特に10月17日には、10年振りに3回目の全市統一太鼓寄せが楠中

央通り（予定）で行われます。この機会に帰省され、懐かしい友と語り、心身をリフレッシュされるのはいかがでしょうか。

広瀬歴史記念館・銅夢にいはいまオープン

広瀬歴史記念館は、市民の憩いの場として親しまれている広瀬公園の中にあり、幕末から明治にかけての激動の時代に、別子銅山の経営を近代化し、住友中興の祖とも呼ばれる広瀬宰平翁ゆかりの資料、美術品を収蔵した展示館や旧広瀬邸などで構成されています。

また、銅夢にいはいまは、昭和通りや登り道などの中心商店街に賑わいと活力を取り戻すための核施設として旧商工会議所跡地に建設され、312席の可動椅子のあるイベントホールや市民ギャラリーなどを中心に様々な催しが開催されており、ともに今年4月にオープンしました。



銅夢にいはいま
(商業振興センター)

新居浜港開港50周年

四国の中核港である新居浜港は、昭和23年1月1日に国際貿易港、同26年9月22日に重要港湾の指定を受けており、新居浜が工業都市として、機能するために欠かせない産業基盤施設ですが、今年度で開港50周年となります。

元禄年間の別子銅山の開坑や多喜浜塩田の開発を契機として、わが国近代港湾の中で、新居浜の産業とともに発展してきた新居浜港は、本港と東港などで構成されており、日本で唯一の港務局という官民一体となった機関が管理を行っていることに特徴があります。

この記念すべき年にあたり、新居浜税関支署では、貿易と関税など新居浜港の果たす役割を広く理解してもらうために、銅夢にいはいまにて、偽ブランド商品などの展示や相談コーナーなどを盛り込んだ「貿易と税関展」を開催します。

また、今年度から、将来の経済・物流環境の変化に対応するため、大型船舶が係留できる公共埠頭や、マリンパーク新居浜などの港湾緑地、海洋レクリエーション機能の整備を目指した「新居浜港新港湾計画」の基礎調査が進められています。

アーティスト
心の自由人たちへ



日野画廊

〒792 愛媛県新居浜市中須賀2-3-37
PHONE(0897)32-5551

日野 功(昭和36年)

本部だより

4月21日 樟樹編集委員会(第8号編集とレイアウト及び原稿依頼先について)

4月23日 会計監査 (平成8年度会計帳簿類)

5月16日 常任理事会 (◇平成8年度事業報告 ◇平成8年度会計決算及び監査報告 ◇平成9年度事業計画画案審議 ◇平成9年度予算案審議 ◇平成9年度予算案審議 ◇西高校創立80周年記念事業について)

◇その他

5月26日 樟樹編集委員会(原稿メ切編集作業)

5月29日 理事会 (◇平成8年度事業報告 ◇平成8年度会計決算及び監査報告 ◇平成9年度事業計画画案審議 ◇平成9年度予算案審議 ◇西高校創立80周年記念事業について)

◇その他

6月9日 樟樹編集委員会(原稿校正作業)

6月23日 樟樹編集委員会(原稿校正作業)

6月30日 常任理事会 (◇總會開催について ◇議事内容・運営方法・会員券の販売・招待者・チラシ・ポスター等)

7月3日 樟樹編集委員会(原稿最終校正作業)

7月14日 理事会 (◇總會開催について ◇議事内容・運営方法・会員券の販売・招待者・チラシ・ポスター等)

8月15日 常任理事会(◇總會準備打合せ)

8月16日 樟樹会總會及び懇親会(場所/リーガロイヤルホテル新居浜 時間/17時30分から 議事 ◇平成8年度事業報告 ◇平成8年度会計決算及び監査報告 ◇平成9年度事業計画画案審議 ◇創立80周年記念事業について)

[平成九年度事業計画]

7月3日 樟樹編集委員会(原稿最終校正作業)

7月14日 理事会 (◇總會開催について ◇議事内容・運営方法・会員券の販売・招待者・チラシ・ポスター等)

8月15日 常任理事会(◇總會準備打合せ)

8月16日 樟樹会總會及び懇親会(場所/リーガロイヤルホテル新居浜 時間/17時30分から 議事 ◇平成8年度事業報告 ◇平成8年度会計決算及び監査報告 ◇平成9年度事業計画画案審議 ◇創立80周年記念事業について)

◇その他

12月中旬 常任理事会 (◇平成9年度の反省・◇平成10年度の予定・◇その他)

2月中旬 理事会 (◇平成9年度の反省 ◇平成10年度の予定 ◇その他)

2月下旬 同窓会入会式(入会記念品贈呈)

3月上旬 卒業式において同窓会賞授与

お知らせ

創立80周年記念誌が平成10年2月に出版されます。内容は大正6年に学校が創立された女学校編から始まり高等学校編、定時制編、資料編と80年の校史が盛り込まれております。装丁はB5判、表紙布クロス、ケース付、写真入りの550ページで、4000円です。

購入の予約をご希望される方は、「はがき」にて郵便番号、住所、氏名、卒業年、80周年記念誌とご記入のうえ左記宛申込みして下さい。後日ご連絡いたします。

宛先 792 新居浜市宮西町4-46
新居浜西高等学校樟樹会

ご注意

毎号、お知らせしておりますが、私は、西高校同窓会の〇〇(偽名)という者ですが、同窓会が会員名簿を発行するので調査してありますと、個人情報聞き出しをしているようです。そのようなことをしているのかと、時々事務局へ問い合わせの電話があります。

同窓会では、会員名簿を発行するおりに、会長名入りの書面にて事前にお知らせしております。問い合わせの電話にはくれぐれもご注意ください、用心のため相手の電話番号をお確かめ下さい。

会員名簿 (平成8年版)

会員名簿の在庫がまだ少しあります。ご購入の方は左記あて、郵便振替にてご送金下さい。

口座番号
0162011150290

加入者名
愛媛県立新居浜西高等学校樟樹会
金額 4450円(送料込み)

— 総会及び懇親会の案内 —

日時 8月16日(土) 総会 17時30分開会
懇親会 18時30分から
場所 新居浜市前田町 リーガロイヤルホテル新居浜
会費 3,000円 (当日受付ます。お気軽にご参加下さいお待ちしております。)

同期会だより

東京での同期会

池田 富子 (昭20年)

修学旅行のつもりで東京で同期会を!!などという発想は、太平洋戦争末期昭和20年卒業の私達でなければ思い浮かばなかったでしょう。修学旅行などともできなかったきびしい時代でしたから。

昨年8月下旬残暑酷しい東京に集まりました。安藤道夫先生に御出席頂き、小人数でしたが纏まりのよい楽しい同期会となりました。当日は約50年振りに会われた方も多く、会場の銀座東急ホテルでは全員興奮のつぼと化してしまいました。今思い出しても笑いが込み上げて参ります。2日目は江の島、鎌倉へ古都を訪ねて遠出をする組と、浅草方面に出掛けて散策を楽しむ組に分かれましたが、後はみんな歌舞伎を観賞、今更ながら連綿と受け継がれてきた伝統文化のすばらしさに感嘆させられました。そしてあつという間に2泊3日の旅は終りを告げ、東京駅で再会を約しつつ西と東にお別れ。次回は何処での開催となるのでしょうか。楽しみにしております。尚今回欠席の方から沢山近況をお知らせ頂き、大変なつかしく拝見しました。

又、出席された方々の御協力、心から感謝しております。
平成9年4月末、お世話役を代表して



望洋会は

望洋会が何と素晴らしい名称ではないですか。人は生きていく限り希望を持って、大海原に洋々とそして縁があつて出会う。会の発足から平成8年11月3日に第3回望洋会総会が100名近くの参加者を得て盛大に開催されました。懐かしい恩師の先生方、現職の先生方、卒業年度毎に設けたテーブルでは、几十年前の懐かしい顔、思い出しに花が咲き、遠くは埼玉県茨城県を始め県外から7名の方が参加し、苦学しながらの卒業は今にそれぞれの人生の大きな糧となり現在の生き様につながっているかの如くみんなの顔は輝いておりました。

時代は人を作る。環境は人を作ると言われますが、その時なりに困りを気づかい、自分なりの目標に向って進路を選択し、決して平穩、平坦な道ではなかったと思いますが、持ち前の精神力、気力、思いやり、助け合い、感謝の気持ちを持って乗り切ってきた様に思います。

経済が豊かになり、社会一般が豊かになり、それに伴い人も豊かになったかどうかと言われれば、決してそうでないと思えて仕方がない時、望洋会は初心を思い出させてくれます。

総会には年のちがいがこそあれど、一生懸命生き、人と人とのつながりの上に自分があるという事を再認識させてくれます。元気で又会える日

伊藤 純子 (昭40年定)

を楽しみにそして、今を精一杯、本当に意義のある総会(望洋会)です。



レストラン・ご婚礼・ご宴会・各種会議

リーガロイヤルホテル新居浜

〒792 愛媛県新居浜市前田町6-9 TEL(0897)37-1121 FAX(0897)37-1446



同期会だより

昭和42年卒業生 同期会記

山内 仁(昭42年)

'96年8月13日、卒業当時3年生担任の5名の先生方(村上孝一、寺岡政晴、高瀬一秀、飯尾忠博、越智謙)に御列席いただき、卒業生413名中114名の参加を得て、新居浜市内のリーガロイヤルホテルにて、卒業後約30年ぶりの同期会を開催しました。
数名の理事による打合せ、案内状発送等、準備怠りなく当日を迎えました。

森賀盾雄君の名司会により、予想通りの盛会裡に終り、2次会への参加も優に半数は越えたと思えます。
卒業時のクラス別写真真集と、新居浜市の観光パンフレットをささやかな土産としました。
さて、会に先立って、名簿作成に努力しましたが、その中から左記のデータを報告致します。

- 報告**
- 1、同級生同士の結婚 2組
 - 2、物故者 10名
 - 3、住所不明者 55名
 - 4、現住所 札幌1名。

関東約100名。



名古屋5名、
大阪28名、
新居浜124名
(男69名、女55名)

この会とは別に、東京では13年前から毎年20、30名の規模で同期会を行い、大阪に於いても、第一回目を開催したとの報告がありました。
最後に、2000年シドニー五輪の年、8月13日(日曜日)には、今回以上の参加を期待しております。
昭和42年度卒業の皆様、今から御予定下さい。
ますますの御健勝をお祈り致します。

同期会案内

同窓会開催の節は事務局へご連絡下さい。可能な限り掲載致します。(編集委)

二九会(二九マレ会)(福の会)へ新居浜へ

- 日時/8月9日(土) 18時30分より
- 場所/会場未定 追って案内状を出します
- 問合せ/秋月礼三郎 0897-34-4455(昼)へ

会員からの便り



神社の楼

北脇重康(昭31年)

学校の裏の一宮神社は、うっそうとした樟の樹の森だった。小さいときは、神社は一宮の森のような大木の茂った森にあるものと思込んでいた。
京都には、葵祭りで有名な上賀茂神社、下鴨神社がある。下鴨神社は、樟の樹ではないが、やはり大木の生い茂った紅の森がある。
上賀茂神社は、2つ目の鳥居をくぐると、両側が芝生でおおわれた広場があり、神社は森の中にあると言う幼い頃の思い出は、間違っていたことを教えてくれる。
その、芝の所に紅色が映えた枝垂れ桜がある事を、この春初めて知った。雨の中、その色がとても新鮮に見えた。もう古木という感じなので、今までは見過ごしてきたようだ。
日本の社会は、今行き詰まり状態にある。同質なのが、揃いすぎたのも一つの原因だろう。これは、一宮の樟の樹が、他の木を圧倒しているのに、何となく似ている。
周囲と同じであれば、悪いことでも平気とする人が、社会の重要な地位にまでびこってしまった。
自分だけのせいとは思わないまでも、我々の世代の行動に負う所が多いと、若い人への責任を感じている。
先日一宮神社に行ったとき、樟も昔ほどの勢いではないように思えた。異質でも、価値なるものが

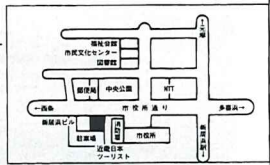
信頼される旅づくり

ツーリストは旅の情報ステーション

近畿日本ツーリスト
新居浜支店

☎(0897)37-2431代 FAX (0897)(32)5314

●営業時間：平日9:30~17:30 土曜日9:30~12:45 日曜・祭日は休み



新居浜市一宮町1-5-50 (新居浜ビル1F)

日本の旅
世界の旅



いい旅なんでもアイデア



育つ、上賀茂神社風に、変わるかも知れない。

これから、多少場違いでも正しいと思える行動を応援し、また上賀茂の桜を見るきっかけを作ってくれた、大切な人と、また桜を見に行きたい。

7号をお届けした後、お便りを多数いただきました。その一部を掲載させていただきます。また、ご意見やご感想、近況報告等お便りをお待ちしております。

宮崎久子（昭和11年女）

時々思ひ出すのですが、中庭にあった「四恩の鐘」は今もあるのでうか。

編集委員会よりお答え

残念ですが、戦争たけなわの昭和18年に、国へ供出されたそうです。

松本矩子（昭和32年普）

新居浜を離れ30年以上になり、故郷のニュースもあまり聞かれなくなりました。

「樟樹」はそちらの風を送ってくれます。

森安昌子（昭和37年家）

卒業して、ふるさとを後にして30余年……

やはりなつかしいものですね。今後も会報楽しみに待っています。お世話宜しく願います。

明日克人（昭和47年普）

「樟樹」7号をお送りいただき有難うございました。

なつかしい友の声もあり、楽しく読ませていただきました。次号以後も期待しております。編集委員の皆さん、大変でしょうが頑張ってください。遠くから皆さんのご健勝をお祈りしております。

宮嶋千代里（昭和49年普）

いつも「樟樹」楽しみに待っています。年一回夏休みにはいつも帰省するので、その直前に届き、今年の様子、同窓会の案内など、故郷へ心は「一飛び」といった感じです。

用事もなく学校へ足を踏み入れるのは、ちょっとと思いますが、紙面から今の西校が見えてくるようです。

行後利恵（昭和51年普）

新居浜へは1年に1〜2回しか帰れません。もうすぐ40歳。同期の方で、新居浜在住の方で、同期会のお世話をしてくださらないかな。なにとムシのいいことを考えています。

多和田朋子（昭和61年普）

会報を送っていただいて、とても懐かしくうれしかったです。ありがとうございます。編集の方々には御苦労をおかけしますが、届くのを楽しみにしていますので、がんばってくださいね♡

編集後記

今年は、いつまでも寒くて春が短かったり、6月に台風がやって来たり……やはり異常気象なのでしょう。

さて、この「樟樹」も8号を無事発刊する事ができ、ほっとしているところです。20号30号……と続けるには、陣容を整えなければという事で、今年から編集委員に4名の新メンバーが加わって下さり、こころ強いかがりです。

近藤司さんは、市会議員で、「新居浜市の動き」の欄にはうってつけの助人です。安藤寛和さんは、市の職員ですが、市政だよりを担当されていたそうで、プロ並です。

越智孝司さん・寺西香代子さんは、平成になってからの卒業生で、新しい発想での今後が期待されます。

一方、私はいと、業は「本屋」ですから本を売る方で、作る（編集）事に関しては全くの素人です。優秀なメンバーの加入により、平編集委員に格下げになる日を楽しみにもう少し頑張ります。



編集委員：「仰」石碑前にて

- 副会長 世良 誠朗 (昭26)
青野 泰三 (昭32)
田坂 初代 (昭10)
(女部会長 藤本スマ子 (昭16)

- 編集委員長 近藤 博司 (昭44)
委員 武田 信之 (昭28)
加藤 正純 (昭28)
安藤 隆男 (昭30)
下村 隆男 (昭30)
藤田 石根 (昭31)
加藤 正義 (昭35)
伏見 紀子 (昭44)
五味 稔 (昭61)
近藤 司 (昭42)
石田 伸一 (昭46)
安藤 寛和 (昭58)
越智 孝司 (平2)
寺西香代子 (平3)

発行所 「樟樹」 〒792 新居浜市宮西町4-46
TEL 0897-3214331
FAX 0897-3214331
発行者 世良 誠朗
編集者 近藤 博司
印刷所 (株) 関西廣濟堂
発行日 平成9年7月15日

お知らせ
母校ホームページ掲載 (NTT新居浜HPへ)
会員のホームページアドレスを知らせて下さい
ホームページをお持ちの方アドレスを登録しませんか。次号に掲載したいと思います。会社の宣伝でもけっこうです。
○○年卒 氏名○○○○○
ホームページ○○○
新居浜西高校 Eメール ○○~
NTT新居浜支店
http://www.sphere.ad.jp/niihama/
上記のユーザー協会をクリックし会員登録簿をダウンロードし新居浜西高校をクリックして下さい。又他に、現在判明しているアドレスは
新居浜市
http://www.netwave.or.jp~niihama
お手玉の会
http://www.shikoku.or.jp/otedomama
(Eメール)
tamachan@otedomama.shikoku.or.jp
前野敏彦 (28卒)
http://www.user.shikoku.or.jp/maenotos/
福島光一 (49卒)
http://www.bekkoame.or.jp/~prtybell/